

スポーツクラブによる コロナ緊急支援事業



(休眠預金等活用事業 2020年度緊急支援枠)



◆スポーツクラブによるコロナ緊急支援事業(休眠預金等活用事業 2020年度緊急枠)

外部審査委員による審査会の結果、7団体が採択となりました。採択団体の団体の名称、事業名、所在地、実施期間、事業概要、選定理由、助成総額とその算定根拠を公募要領「審査結果の通知と開示」に基づき、公開いたします

団体名	スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社(京都ハンナリーズ)
所在地	京都府京都市
事業名	子ども宅食事業の継続的な拡大へ向けた取り組み
事業概要	2020年より行っている京都子ども宅食事業の「地域的拡大」と「継続的な寄付受付」を京都を代表するプロスポーツチームが全面的に支援することにより、課題を広く可視化し、市民の態度変容を促す。
実施期間	2021年7月~2022年2月
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂の計画の具体性、過去実績、体制基盤等から実行確度が総合的に高く、域内ステークホルダーとの関係構築によるターゲットへのアクセスが可能のため ・横展開マニュアルによる将来的な波及効果が期待されるため
助成総額	11,501,680円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	熊本バスケットボール株式会社
所在地	熊本県熊本市

事業名	バスケットボール夢授業と試合観戦
事業概要	ひとり親の子供達の繋がり作り(コミュニケーション機会)を提供する体験プログラムを計10回、累計500名を対象に実施する。 プログラムのコンテンツとして、以下を実施する。 ・現役選手による子ども達への夢授業(オンラインorオフライン)・バスケットボール教室・食育等の体験の提供 ・こども食堂への支援 ・ホームゲームへの観戦機会の提供
実施期間	2021年7月~2022年2月
選定理由	・対象が具体的かつ広範であり、スポーツクラブからの発信により子どもが参加しやすい仕組みが構築されているため ・体験活動・座学・食支援のバランスがよく、こども食堂との連携による継続性が期待できるため
助成総額	9,904,000円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ
所在地	長野県長野市
事業名	地域と共に！ながのを届けよう！
事業概要	新型コロナウイルスによって影響を受けた飲食店・農家を集めたテイクアウト・マルシェイベントの実施し販売機会の確保。併せてパブリックビューイングを実施しスポーツを通じたコミュニティの場の創出と地域活性化に繋げる。 また農家支援として新たな販売チャネルを確立しスポーツクラブを通して長野の強みである農作物の魅力を発信。県内外のサッカーファン・サポーターに対して新鮮で安心な野菜や果物(ブランド含む)認知、消費を促す。
実施期間	2021年7月~2022年2月
選定理由	・長野市、長野商工会議所との実行委員会の組織体制及びメディアとのつながりによる発信力が期待されるため ・支援対象者へのアクセスが確保されており、本事業で創出されたスキームを活用した継続的な地域産品のと地場産業の活性が期待できるため
助成総額	9,549,700円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	琉球フットボールクラブ株式会社 FC琉球
所在地	沖縄県沖縄市

事業名	県産品流通促進並びに困窮家庭の子供に対する食料支援及び自立支援を目的としたプロサッカー選手と困窮家庭の子供達による「琉球応援弁当」の企画開発
事業概要	Jリーグクラブ「FC琉球」、地元小売大手「イオン琉球株」、「沖縄県」の3者協働により、県産品を活用した地元プロサッカー選手監修「FC琉球コロナに負けるな琉球応援弁当」及び「アスリートレシピ」を企画開発し、FC琉球とイオン琉球のコンテンツやメディアを活用した県産品プロモーション実施並びにイオン琉球での琉球応援弁当及びPRした県産品の販売により、コロナ禍で影響を受けている県産品の流通促進を図る。弁当やレシピの内容は子供の発育やアスリートへの有効性を意識したものとすることで、新たな県産品需要を掘り起こす。同時に、沖縄県委託事業「おきなわこども未来ランチサポート」との協働による県内子ども食堂への琉球応援弁当配布及びFC琉球選手と子供達との交流により、コロナ禍で影響を受ける困窮家庭の子供達への食糧支援及び食育を実施し県産品の流通促進にもつなげる。合わせて、身近な夢である地元プロサッカー選手との交流により夢や目標を持つことでの自立支援も目指す。
実施期間	2021年6月～2022年2月
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地産品と困窮する子どもへの複合的なアプローチによる波及効果が期待できるため ・事業の継続性を見据えた寄付の仕組みに期待できるため
助成総額	13,492,075円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	秋田ノーザンハピネッツ株式会社
所在地	秋田県秋田市
事業名	秋田ノーザンハピネッツ子ども食堂“ミライの食堂”の運営
事業概要	新型コロナウイルスの影響により、多くの秋田県民の生活に影響が及んでいる。特にひとり親家庭の保護者は飲食店で勤務していることも多く、勤め先の時短営業や閉店によって収入が減り、生活状況が悪化しているケースが行政・社会福祉協議会に数多く報告されている。こうした社会状況を踏まえ、秋田ノーザンハピネッツでは早急な打ち手である単発の子ども食堂を実施しつつ、継続性の観点から、秋田県内初となる常設での子ども食堂“ミライの食堂”を新設し、運営する。“ミライの食堂”では、困窮家庭の子どもたちにアプローチすることを大切にしつつも、線引きはせず、所得水準・年齢・性別関係なく誰もが訪れられる、明るく楽しい食堂を目指す。そこにプロバスケットボール選手も食事にくる。このように地域の多様な人々が関わることで、地域住民全員にとって大切なコミュニティへと育てていく。
実施期間	2021年7月～2022年2月
選定理由	・「ミライ食堂」を拠点とした困窮者支援&コミュニティ支援のデザインができており、地域として取り組みの重要度が高いため

	・必要な域内ステークホルダーと関係構築ができており、実現可能性が高いため
助成総額	11,895,110円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース
所在地	神奈川県川崎市
事業名	バスケットを通じた子どもの居場所創出事業
事業概要	コロナ禍により、居場所が十分に確保できない学生や、経済的な理由等でバスケットボールのスクールに通うことが困難な小中学生を主な対象としてバスケットボールスクール生のスカラシップ事業を行う。また子供が安心して滞在出来る拠点づくりを行う。
実施期間	2021年7月~2022年2月
選定理由	・体験の機会と居場所の提供はコロナ禍でのスポーツクラブに対する課題解決の手段として期待できるため ・過去実績と事業経験から実現可能性が高いため
助成総額	12,600,000円
算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定

団体名	浦和レッドダイヤモンド株式会社
所在地	埼玉県
事業名	このゆびとまれっず！
事業概要	・ハートフルケア(生活困窮・貧困家庭へのスポーツを通じた心身・精神的なケアプログラムの実施) ・レッズサンタ(子ども食堂への選手・スタッフ・マスコット等によるプレゼント(支援物資)デリバリーと子どもたちとの交流) ・特設サイト開設によるプロジェクトの周知と支援の輪の拡充 (https://www.urawa-reds.co.jp/club/konoyubi/)
実施期間	2021年8月~2022年2月
選定理由	・ハートフルケア及びレッズサンタのコンテンツが課題への打ち手として優れているため ・スポーツクラブによる課題解決のモデルとして期待できるため
助成総額	9,316,025円

算定根拠	実行団体提出の事業計画書・資金計画書に基づき算定
------	--------------------------

以上